



7月号 令和4年6月30日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

引き取り訓練 あいがとうございました！！

関東に大きな地震が来るといわれてから何年もたっていますが、今現在も、いつ来てもおかしくない状態が続いています。小学生のとき地震が怖くて、大事なものを入れたリュックと洋服と靴を枕元に置いて布団に入り…子どものときに感じた地震への恐怖は、今でも覚えています。東日本大震災の時に私は5年生を担当していて、4階の教室で6時間目の授業をしていました。とてもとても揺れました。地震後、校庭に避難して、次々に迎えに来る保護者の方に確認しながら児童を引き渡しました。クラスの子どもたちを保護者の方に無事引き渡すことに必死に対応したことを思い出します。混乱しながらも、訓練を思い出しながらマニュアルに沿って引き渡しを行いました。まだ寒い3月だったので、お迎えがひと段落ついたところで体育館に移動し、卒業式練習のために並べていた椅子に座り待機していました。駆けつけてくれた市の職員が防災倉庫より毛布とお茶、ビスケットを出してきて配布し児童に食べさせ、空腹を補いました。迎えを待つ子どもたちは、最終的に校長室に移動し、夜までかかり引き渡しを完了させました。あれからもう、11年もたつのですね。

15日(水)に、5校合同引き取り訓練を実施しました。保護者の皆様にはお忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。災害はいつ起きるかわからないため、このような訓練はとても有効だと感じています。実際有事には、教室で整然と児童の引き渡しができないかもしれませんが、今回のような引き取り訓練の経験を生かし、心づもりをすることが大きな支えとなります。年度初めより、火災や津波の避難訓練、大雨等の集団下校訓練等を実施してきました。子どもたちみな真剣に取り組むことができ、「自分の命を守ること」を意識することができていると思います。今後9月には、不審者対応訓練も行う予定です。



「災害は忘れたころにやってくる」とは言われますが、「備えあれば憂いなし」です！！

ご家族でも有事を想定し、家族の約束を決めておくと、子どもたちの不安も少しは和らぐと思います。

授業参観・懇談会

先週の23日・24日には、たくさんの方々の授業参観へのご来校ありがとうございました。これまでコロナ予防対応により来校に制限がかかり、なかなか学校の様子を知っていただくことができず残念に思っておりました。今回、今年度初めての授業参観・懇談会を行い、お子さんのクラスでの様子をご覧いただくことができ大変よかったですと思っています。現在感染レベルが下がり、工夫しながら実施可能な学習活動も増えてきました。音読や歌唱、楽器の演奏、家庭科の調理実習等、実技ができると学びも深まります。子どもたちは、意欲をもって学習活動を進めています。

今後、希望者のみですが教育相談も予定されています。夏休みに向けて有意義な面談となりますように、ご協力をお願いいたします。